

分担金・拠出金の名称	アジアパシフィックアライアンス(A-PAD)拠出金	平成28年度 予算額	100,000千円	総合 評価	A
拠出先の国際機関名	アジアパシフィックアライアンス				
国際機関の概要	アジアパシフィックアライアンス(A-PAD)は、アジア太平洋地域において大規模な自然災害が発生した際に、A-PADに参加する各国のNGOと民間セクターが各国政府と連携・協働し、迅速かつ効果的な緊急人道支援活動を行うこと及びアジア太平洋地域における包括的な防災体制の構築を目的として、日本のNGOが主導となって2012年に設立。現在、日本、韓国、インドネシア、フィリピン、スリランカ、バングラデシュの6か国のNGOと民間セクターが正式なメンバーとして、各国政府との協力関係の下、事業を実施中。				
評価基準		達成状況			
1. 当該機関等の専門分野における影響力・貢献	A-PADは、我が国発の防災分野における貢献として、第6回アジア防災閣僚会議(於:タイ)でのサイドイベント、第3回国連防災世界会議でのパブリックフォーラムの他、数多くの国際シンポジウムを国内外で開催。また、A-PADは、日・ASEAN統合基金(JAIF)から、ASEAN防災人道支援調整センター(AHAセンター)の防災担当行政官訪日研修も受託。これにより、アジア地域内の官・民・NGO間の連携を促進することにより、国際的な防災対応等に積極的に貢献。 また、平成26年度以降、我が国拠出金等を財源とし、フィリピン、スリランカ、ネパール、台湾において、自然災害発生時に即時に出動し(計9回)、約12万人の被災者に対する緊急人道支援を実施。				
2. 我が国重要外交課題遂行における当該機関等の有用性(意思決定における我が国のプレゼンスを含む)	A-PADが専門とする防災分野は平成28年度開発協力重点方針に掲げられた重点事項の一つであり、また、同方針では様々な主体との連携の強化が求められているが、A-PAD憲章も、政府、民間セクター、NGO間の協力・調整の強化を謳っており、A-PADは同方針を遂行する上で有用である。 また、A-PADの活動に関して、外務省はA-PADハイレベルと随時意見交換を実施する等により、我が国の発言力・影響力を確保している。 さらに、A-PAD事務局は日本に存在し、CEOも日本人であることに加え、我が国の拠出金がA-PADの主要な活動資金となっていることから、我が国の発言力・影響力は極めて大きい。				
3. 当該機関等の組織・財政マネジメント	A-PADは、外務省に対し月次活動・財務報告を提出している他、会計年度毎に外部監査法人による外部監査を受けており、平成26年度(A-PADの会計年度は9-8月)においては、右外部監査報告書(平成27年11月報告)の結果、A-PADの財政マネジメントは健全である旨評価されている。さらに、A-PADは、人員体制のより一層の充実(平成26年4月:11人→平成27年4月:15人→平成28年4月:17人、いずれも常勤・非常勤職員数の合計)や新規ナショナル・プラットフォームの設立(平成26年8月、スリランカ)、A-PADメンバーの増加(平成27年3月、バングラデシュのNGO)、国を超えた各国ナショナル・プラットフォーム間のネットワークの強化等にも取り組むなど、組織・財政マネジメント強化に努力している。				
4. 当該機関等における邦人職員の状況	2012年のA-PAD発足以降、現在に至るまで、日本人がA-PADのCEO(統括責任者)を務めており、設立憲章の採択時から現在まで、組織としての重要な意思決定にA-PAD日本事務局は中心的に関与している。また、日本事務局は、A-PADの事務局としての機能を担っており、A-PAD組織内における日本事務局の影響力は大きい。 (邦人職員数:平成26年4月:9人→平成27年4月:10人→平成28年4月:12人、いずれも常勤・非常勤職員数の合計)				
5. 我が国拠出の執行管理、PDCAサイクルの確保	①計画段階(Plan): 我が国の防災分野への取組におけるA-PADの活動の重要性等(ASEAN防災人道支援調整センター(AHAセンター)の防災担当行政官訪日研修の受託、毎年開催されるASEAN防災担当大臣会合への参画等、A-PADの活動実績)に照らしつつ、予算要求。 ②実施段階(Do): 予算拠出。月次活動報告書・月次収支報告書・中間報告書の受領・確認及び協議を通じて、A-PADの活動をモニタリング。 ③評価段階(Check): A-PAD作成の年次活動報告書・収支報告書、外部監査報告書により成果を評価。 ④フォローアップ(Act): A-PADとの緊密な協議等を通じ、必要に応じて改善を提言。				
担当課・室名	国際協力局 民間援助連携室				